

オンライン講演会



血液疾患を考える患者・家族の会「リボンの会」主催

がん治療と妊孕性について

～治療後に家族を持つこと～

血液疾患の治療による妊孕性への影響。

卵子凍結など妊孕性温存の取り組みが進む一方、急を要する治療で温存が叶わなかったり、説明のないまま治療後に妊孕性の喪失が判明した方などもいらっしゃいます。

妊孕性を失っても、結婚や子どもを持つ夢を諦めたくない。

移植治療後に結婚や特別養子縁組の道を選んだ2人の先輩に、ご自身の経験や選択について伺います。

5月3日（祝）午後2時開始（1時間半程度）

【ゲスト】 大谷貴子さん（骨髄移植後 妊孕性の問題に取り組む）
川野曜子さん（現在特別養子縁組で子育て中）

【申し込み・お問い合わせ】

ribbon.fuk@gmail.com（リボンの会・蒔田）

ZOOMを使って行います。招待メールをお送りしますので、

①お名前 ②連絡先 ③患者or家族orその他 を明記の上、お申し込み下さい。（参加無料）

※血液以外のがん種の方も参加頂けますが、講演内容は血液疾患の体験談が中心になります。